重要テーマ❸

環境に配慮した取り組み

重視する理由（課題認識）

近年、地球温暖化など環境問題が深刻化しており、大量生産・大量消費・大量廃棄を前提にした社会システムやライフスタイルを見直し、持続可能な開発を進めていくことが求められています。

企業への社会的要請も急速に高まる中、オリコはコアビジネスで培った事業ノウハウの活用や新たなビジネス機会の創出などによって、低炭素・循環型社会の実現に向けた取り組みを進めています。

SDGsとの関連性

低炭素・循環型社会の実現

2020年度の主な取り組み

再生可能エネルギー分野の個品割賦商品の利用促進

パリ協定で定められた目標を達成するためにも、再生可能なエネルギーの利用拡大が世界的な課題となっています。オリコは太陽光発電システムや蓄電池などの導入の促進に資する商品・サービスを提供するとともに、EV（電気自動車）などの次世代自動車の拡大につながる商品・サービスの開発を進めています。

低炭素社会の促進に資する商品・サービスの開発

オリコは、お客さまの幅広いニーズに応える多彩な商品ラインアップの中で、ecoソーラーローンをはじめとする低炭素社会の実現につながる商品・サービスを提供しています。引き続き、低炭素社会を促進する商品・サービスを推進し、ステークホルダーの要請に応えていくとともに、今後も環境に配慮した商品・サービスの検討、開発を進めていきます。

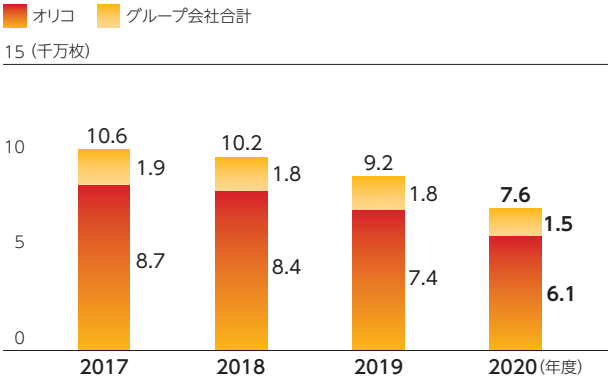
ペーパーレス化の推進

ペーパーレス化への取り組みは、CO_2排出量削減につながります。オリコグループでは、コピー用紙の使用を最小限に抑えるためさまざまな取り組みを実行しています。

その結果、2020年度のコピー用紙購入量は約7.6千万枚（前年度比17.5%減）となりました。

引き続き、Webクレジットやカード利用明細書の電子化を推進するとともに、社内においてもオペレーション業務のRPA化や各種申請書の電子化など事務プロセスの変革を進めています。

コピー用紙購入量の推移



企業活動に伴うエネルギー使用量の削減

オリコでは、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）」「埼玉県地球温暖化対策推進条例・目標設定型排出量取引制度」の対象事業所としてエネルギー使用量およびCO_2排出量の削減に積極的に取り組んでいます。

本社別館をはじめとする自社ビルでは、LED照明への切り替えや高効率タイプの空調設備機器への更新、窓用高断熱フィルムの導入など、ライフサイクルコストの思想に基づき、環境負荷に配慮した設備投資を計画的に実行しています。

また、社用車についてはエコカーを推奨する燃費基準を設けており、2021年3月末時点で915台のうち、約45%の411台を低燃費車※で運行しています。

※ JC08モード燃費30.0km/L 以上の車両

Close Up 5

埼玉県、秩父市と「埼玉県森林（もり）づくり協定」を締結

計画的な森林整備によって地域の環境保全に貢献

コーポレートコミュニケーション部
サステナビリティ推進室
部長代理
小澤 一亮

埼玉県および秩父市と協力して、「オリコの森プロジェクト」を開始

近年頻発している大規模な自然災害には地球温暖化に伴う気候変動が影響していると考えられています。こうした災害リスクを低減していくためには、低炭素社会の実現に向けた取り組みを一層進めていく必要があります。

当社は、低炭素社会を実現するための金融商品・サービスの提供、企業活動に伴う環境負荷削減などに積極的に取り組んでおり、その一環として、2020年7月に埼玉県および秩父市と「埼玉県森林（もり）づくり協定」を締結し、「オリコの森プロジェクト」を開始しました。

「埼玉県森林（もり）づくり協定」とは、県民共通の財産である森林を守り育てるため、企業・団体、活動を支援する埼玉県、および活動場所を提供する市町村などの三者が協定を結び、協力して活動するものです。

埼玉県庁での
協定締結式の様子
左から、オリコ 飯盛社長、
埼玉県 大野知事、
秩父市 久喜市長（当時）

当社のシンボリックな活動をめざし、社内外の理解・参加を促進

「オリコの森プロジェクト」は、企業による森林づくり活動をCO_2吸収量の形で評価・認証する「埼玉県森林CO_2吸収量認証制度」を活用しており、認証された吸収量は埼玉県地球温暖化対策推進条例の計画に利用することができます。

本プロジェクトでは、秩父市が所有する森林の整備活動（植栽、下刈り、間伐など）を通じた森林の再生を図ることで、温室効果ガス排出削減やエネルギー使用量削減などに取り組んでいます。

2020年度に埼玉県から認証されたCO_2吸収量は18.6t-CO_2／年で、これは1年間に人間が呼吸により排出するCO_2量に換算すると58人分に相当します。

環境に配慮した取り組みは、企業に対してステークホルダーの皆さまからの期待や要請が高いテーマの一つです。「オリコの森プロジェクト」の活動を通じて、当社社員の環境への理解を深め、埼玉県の環境保全への貢献をめざします。また、地域の活性化を促す地域連携や次世代教育につながる自然環境教育の学習機会の提供などを展開し、当社のシンボリックな活動にしていきたいと考えています。

オリコ社員による森林整備活動

Close Up 6

カードご利用代金明細書のペーパーレス化

ご利用明細をデジタル化することで環境に配慮した事業を推進

CRM開発推進部
主任
藤平 絵里

環境負荷の軽減だけでなく、お客さまにも多くのメリットを提供

環境に配慮した取り組みの一環として、当社は2020年10月からお客さま向けに発行している「ご利用代金明細書」のWeb明細への切り替えをお願いしています。Web明細は、不要な紙をなくすことでCO_2削減などによる環境負荷の軽減につながり、また、お客さまにとっても郵送よりも早くパソコン・スマートフォンで請求額が確認できる、紙明細を破棄する手間がなくなる、個人情報漏洩などのリスクが回避できるなどさまざまなメリットがあります。

明細だけでなく、さまざまな紙媒体のWeb化を推進

現在、お客さまにはWebサイト、DM、メール、店頭での案内などでWeb明細への切り替えの告知を強化しており、2021年3月時点で請求件数の約40%がWeb明細に切り替わっています。2021年3月までに46,127,334件の紙の発行を停止したことで、およそ23,000t分のCO_2を削減することができました。

さらにWeb明細の登録を促進するための会員サイトの機能改善や登録促進施策を実施します。これまで紙で訴求していたコンテンツをWeb上でも展開するなど、デジタル化をしてより使いやすく、分かりやすくなったとお客さまにご満足いただけるサービスの提供をめざします。

今後も引き続き、入会申込書やチラシなどのさまざまな紙媒体のWeb化を進めていきます。また、社内においてもWeb会議やタブレット端末・プロジェクタの活用などを通じてペーパーレス化を定着させていきたいと考えています。

紙使用量の削減による効果

※環境省「エコ・アクション・ポイントの二酸化炭素削減効果の算出手法例」をもとに算出